



ISBN978-4-910579-33-7
C0476 ¥1500E

定価 1,650円
(本体1,500円+税10%)
京都柿本書房



お
F&F
mook

第2弾

おせたげる
京都
南山城
エリアめぐり

京都柿本書房

F&Fmook
第2弾

おせたげる 京都(南山城)エリアめぐり



今こそ知るべき南部の魅力。

F&Fmook



細い田んぼ道を進むと見えてくる立派な古民家。入口に立つだけで木の温かさが溢れるここは、木のおもちゃと雑貨のお店『arumitoy』。併設の工房で生まれている全ての商品は、オーナーによる完全オリジナルの手づくりです。「ずっと自分の中で子どもたちを喜ばせたいという想いが一番にあったんです」という温かな想いから木のおもちゃ作家になった「arumiさん」ことオーナーの多胡歩未さんに、現在に至るまでのお話をお伺いしました。

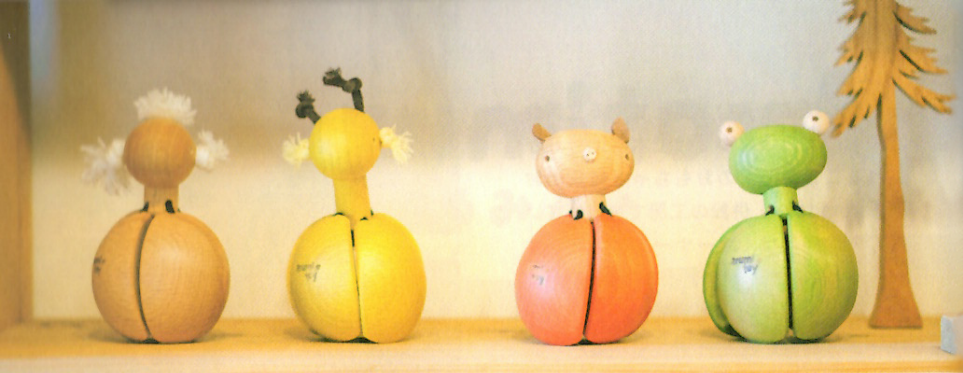


オーナーの歩未さん



想いから実現へ

高校生の頃に「自分のアイディアで子どもたちに喜んでほしい」という想いを抱きデザイン系の大学へ進学。「どうせならデザインだけでなく最初から最後まで全て自分でつくりたい」と、木のおもちゃ作家になることを決意されました。ですがプラスチック製玩具が主流の時代に「今さら木のおもちゃなんて時代遅れ」と周りから言われることもあったとか。日本では学べる場所もなかなか見つからず「木のおもちゃで有名なドイツへ行けば何かできるだろう」と単身ドイツへ。言葉を覚えながら学び2年半の修業を経て、2004年にarumitoyをオープンされました。

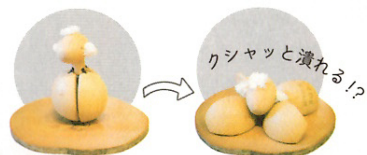


木のおもちゃならではの魅力

歩末さんがつくるおもちゃは、木の良さを引き立たせる淡い色味が可愛く、発想次第で自由な遊び方ができるのが特徴です。加工しやすく耐久性のあるブナの木を使用しており、木目が潰れない塗装に仕上げているのだとか。歩末さんは流行を追わず、自分が届けたいものをつくり続け、自分が納得した物だけを商品として販売することを大事にしておられます。「つくってみると思い通りに動かないこともあります。その問題点を一つずつクリアしていくのが楽しくて。それがものづくりだと思っています」とお聞きして、想いを形にするために惜しまない努力と



強いこだわりを感じることができました。おもちゃ以外の雑貨には、国産も含め世界中の様々な木材が使用されています。木が違くと色が違う、当たり前と思うことでも実際にその違いを目にすると面白く、木の魅力に引き込まれてしまいました。見たことのない木目や色味など、少し変わった木を見つけると全部欲しくなるほど木材に目がない歩末さん。手に入れても勿体なくて使えぬまま秘蔵ストックとして溜め込んでいる物もあるのだとか。作り手がこんなに素材を愛しているからこそ、想いがたくさんこもった素敵なおもちゃへと生まれ変わるのでしょう。

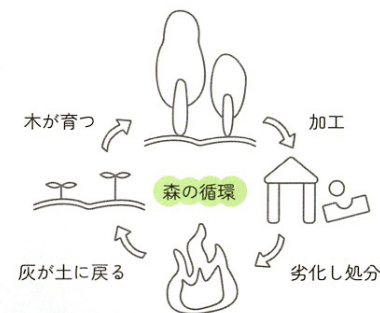


赤ちゃんのガラガラ「クォーター」

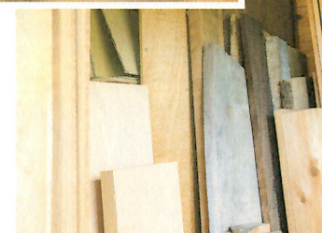


いのちの「始まりと終わり」

「森も人も多種多様。どんな存在にも必要な“いのち”なんです。森の循環もいのちの循環も全て次の世代に繋がっているからこそ、この循環を皆が大事にしなければいけないと思うんです」と歩末さん。製品をつくる過程で出た端材は、形を活かした「残念ないきもの」としてお客様に配ったり、薪ストーブに使用したりとお店の中でも循環が行われています。また、森や里山などの環境変化に危機を感じる歩末さんは「今こそ自然を通して自分たちの生き方を見直し、原点を知ることが大切です。ワークショップやおもちゃづくりを通して、子どもたちに正しい知識



や情報を伝えていきたい」と言います。自然との在り方を次世代に繋ごうとする想いをお聞きすることができました。様々な想いが込められ、安全にも環境にも配慮したとても可愛い木のおもちゃ。特別な日の、素敵な贈り物にいかがですか？



たましいのおうち

歩末さんが、産まれたばかりの我が子を失い、前を向いて生きていくためにつくったことがきっかけで始めた取り組み。子どもの供養に、旅立った天使が帰って来られる場所をカタチにしています。



木のおもちゃ arumitoy

きのおもちゃ アルミトイ

🏠 京都府木津川市加茂町岡崎中縄手 4-2

☎ 0774-34-0625 🕒 10:00~17:00

📅 休 月曜日・水曜日・日曜日

🖥 arumitoy | <https://arumitoy.net>

たましいのおうち | <https://spirit-house.net>

📷 Instagram | @arumitoy_woodentoy